

北区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称		実施主体			
北区子どもの生活リズムづくり推進事業		北区役所 企画総務課			
事業目的	事業内容	活動指標	H29	H30	R1
子どもの生活習慣等の定着・改善に関するスマートフォンアプリケーション「子どものe-習慣“家での7つのやくそく+”」を運用し、堺市教育委員会が啓発している「家での7つのやくそく」に、「あいさつ」「家でのお手伝い」を健全育成の視点として加え、子どもの基本的な生活習慣の確立を図ることを目的とする。	以下の機能を備えたアプリを運用する。 (ア)子どもの生活習慣入力機能 (イ)入力結果確認及びフィードバック機能 (ウ)プッシュ通知によるお知らせ機能 (エ)入力状況や達成状況に応じた報償付与機能など	アプリのダウンロード数	430	469	
①妥当性	②協働の視点	③インパクト	④効率性		
○ 本事業は、北区教育・健全育成会議の提言に基づく事業である。北区の児童・生徒の基本的な生活習慣の確立をめざすものであり、妥当性のある事業である。	× 本事業自体は区が主体となって、事業者への委託で運用しているため、区民との協働には該当しない。	◎ 同様の事業は他区になく、区の内外に北区をPRできる事業となっている。子どもの人口が多いという北区の特色を活かした事業である。	○ アプリを開発することにより、手軽にいつでもダウンロードしてもらうことが可能であり、効率的に子どもの基本的な生活習慣の定着を推進できる。		
⑤自立発展性	総合評価				
△ 本事業の自立発展性は低いと考えるが、アプリの活用をきっかけに、子どもの基本的な生活習慣が確立し、自己管理につながることを期待している。	○ 堺市教育委員会が啓発している「家での7つのやくそく」を中心に、健全育成の視点を加えたアプリを運用することで、子どもの基本的な生活習慣の定着を推進する。生活習慣の入力、入力結果確認及びフィードバック機能、入力状況や達成状況に応じた報償付与機能により、継続した利用につなげた。				
今後の方向性(課題、改善提案等)					
拡充 継続 見直し 廃止	区内の小学校を通じて、チラシの配布等を行いアプリの周知を行ったが、継続的な利用者の増加にはつながらなかった。また、利用者拡大のための効果的な改修を行うことは、アプリの構造上難しいことが分かったため、今後利用者の拡大が見込めないと判断し、本事業を今年度限りで終了とする。				